

## 令和2年度 インテグリティ講習会 資料

1. 『インテグリティの精神(誠実さ、真摯さ、高潔さ)』推進の趣旨
  - 1) 日本中でバスケットボールを楽しむ人を増やし続ける。
  - 2) その人達がバスケットボールを楽しめる環境を充実させる。

### **暴力暴言をはじめとする、すべてのハラスメントのない バスケットボール界を目指す。**

2. 『インテグリティの精神』の実現
  - 1) 「人間力」を高める。
    - ひとりの人間としての資質を高める。  
アイデンティティ教育
    - 人とかかわりの中で社会人としての資質を高める。  
フェアプレー・リスペクトの精神、コンプライアンス教育、リスクマネジメント教育等
    - 自発的に他者(社会)のために尽くす資質を高める。  
ボランティアの精神
  - 2) 「指導力」を高める。
    - プレーヤーの個の力を高める。  
アスリートセンタードの精神、暴力暴言を含めた体罰の根絶
    - チームプレーヤーとしての力を高める。  
勝利至上主義からの脱却
    - バスケットボールの価値を高める。  
バスケットボールに関わるすべての人に対するリスペクト
  - 3) 「組織力」を高める。
    - 組織としてのあり方を高める。  
ガバナンス、コンプライアンス
    - 組織としての適応力を高める。  
リスクマネジメント
    - バスケットボールの価値を高める。  
バスケットボールを通じた社会貢献

### **『インテグリティの精神』を身に付けた人材を育成する。**

### 3. 『インテグリティの精神』の実践

- 1) 指導者の『インテグリティの精神』の取り組み
  - アスリートセンタードの精神で保護者と協力する。
  - プレーヤー(子ども)の個人差を認識し、伝え方を工夫する。
- 2) 保護者の『インテグリティの精神』の取り組み
  - アスリートセンタードの精神で指導者と協力する。
  - プレーヤー(子ども)・審判・指導者を批判しない。
- 3) プレーヤーの『インテグリティの精神』の取り組み
  - 指導者・保護者に感謝する。
  - 対戦プレーヤー・チームメイトをリスペクトする。

### 4. 『インテグリティの精神』のメッセージ

- 1) クリーンバスケット(オフコートでのあり方)
  - バスケットファミリー全員の協力によりバスケットの価値を高める。
- 2) クリーン・ザ・ゲーム(オンコートでのあり方)
  - 試合に関わるプレーヤー・指導者・審判・観客(保護者)すべての協力で試合の価値を高める。

## **クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム ～暴力暴言根絶～**

指導者委員会はインテグリティ委員会に改称しました。

『インテグリティの精神』を指針に一緒に頑張りましょう！